

**【施策評価調査】**

施策名	1-2-3	農道の整備		74	施策目的 道路評価システム(農道部門)に基づき整備し、農業の振興と農村環境の改善を図るとともに、生活道路としての機能の充実を図ります。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当	都市整備担当		施策内容 道路評価システム(農道部門)に基づき整備し、農業の振興と農村環境の改善を図るとともに、生活道路としての機能の充実を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化		リーダー	阿久津 靖		

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 農道舗装率(%)	平成16年度舗装率(防塵舗装含) 20.2%	計画	21.2%	21.6%	22.2%	22.8%	23.4%
		実績	21.20%	21.5%	23.0%		
指標 : 満足度調査		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	15,500,000	17,600,000	14,450,000		
	決算	15,371,040	16,478,700	14,845,950		

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	
県単農道整備事業費	H21 現計 15,000,000	総延長		今後の方向性(総合評価) 条件付継続
	H22 計画 15,000,000			
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性 現状水準維持	農業の振興と農村環境の改善を目指すとともに、生活道路としての機能充実を図る。今後、見直しを進めている道路評価システムや道普請事業との関連を整備し、後期計画を策定する必要がある。	
総合評価	継続的に施策展開がされていると評価する。後期計画に向け、整備することでどのような成果となるのか、指標の見直しをするのは当然だが、社会状況の変化を見極めつつ、道路行政全般のあり方を検討すること。そのためにも、財政状況を勘案し、他施策との統合も視野に入れた真に必要な道路整備になるような施策展開をよく検討すること。		